

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西辻府中マンション	階数	地上11F
建設地	大阪府和泉市府中町一丁目1126番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	96人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2018年5月14日
敷地面積	1,149㎡	作成者	植田 定雄
建築面積	324㎡	確認日	
延床面積	3,066㎡	確認者	

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくこと、外観四角を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境と住居環境に配慮した、住みやすいマンションを目指した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	各住戸の外皮性能を高め、省エネと快適さを追求した。	Q3 室外環境(敷地内) シンボルツリーを植樹し建物以外でも認知されることで、物件の価値向上を目指した。また、道路に面する敷地を駐車場にすることで、風通しと路上騒音低下を狙った。
LR1 エネルギー	冷暖房の使用を抑えるため、住戸外皮性能を高め、北面と南面に窓を設けることで風通しを良くし、また、南面に大きい開口を設けることで太陽光を積極的に利用する計画とした。	LR3 敷地外環境 敷地への出入口を2つ設け、それぞれ出入を1方向のみとするすることで、車両出入り時の前面道路渋滞対策とした。
Q2 サービス性能	CATVや通信設備は最新規格を導入し居住者の通信インフラを整備。また、1Fを貸店舗にすることで生活の利便性を提供する。	LR2 資源・マテリアル 環境に配慮した建材を積極的に使用する予定である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0015

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	西辻府中マンション新築工事							
	建設地	和泉市府中町一丁目1126番1、1126番11、1126番13、1126番16							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			4					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			4					
④	エネルギー削減			5					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		